

地域のみんなで作る

ニュータウンふくしプラザ 第4回クリスマス& オープンカフェ

プラザ前の広場がオープンカフェとなった一日。来場者は、温かい豚汁やお茶などを手に、キッズダンス、民謡、童謡などのミニコンサートを楽しみました(写真①)。また、町のイメージキャラクター「はーとん」の登場(写真②)や、パンや手作り小物などの模擬店、ゲームコーナーなどもあり、子どもや高齢者、障がい者など、多くの人々が交流したイベントとなりました。



12月11日、ニュータウンふくしプラザで「第4回クリスマス&オープンカフェ」が開催され、会場は多くの方々にぎわいました。イベントを企画・運営した「ふくしプラザイベント実行委員会」は、同プラザボランティアの皆さんです。松山茂喜実行委員長は、「今年もたくさんの方々に協力いただき盛大に開催できました。このイベントでの出会いをきっかけに、たくさんの方がニュータウンふくしプラザに気軽に足を運んでくれるとうれしいですね」と、多くの方がふくしプラザで交流し、笑顔になることを期待していました。

「第4回クリスマス&オープンカフェ」のスタッフの皆さんから、同プラザで「ニュータウンふくしプラザボランティア募集説明会」が行われます。詳細は9ページをご覧ください。

◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆
◆ ◆ ◆
オープンカフェが行われた日、ふれあいセンターで鳩山町青少年相談員協議会(事務局・役員健康福祉課)主催による「ウキウキクリスマス会」お菓子の家づくりも同時開催されました。

ウキウキクリスマス会 ～お菓子の家づくり～

ウキウキクリスマス会には、町内の児童約30人が参加。当日は、ビンゴやお絵かきゲームなどで遊んだ後、たくさんのお菓子を使って思い思いの「お菓子の家」を作りました(写真右)。そして最後にみんなで楽しく「お菓子の家」を食べました。イベント終了時には、当日の記念写真を子どもたちにプレゼント。会場は甘い匂いと笑顔で包まれていました。

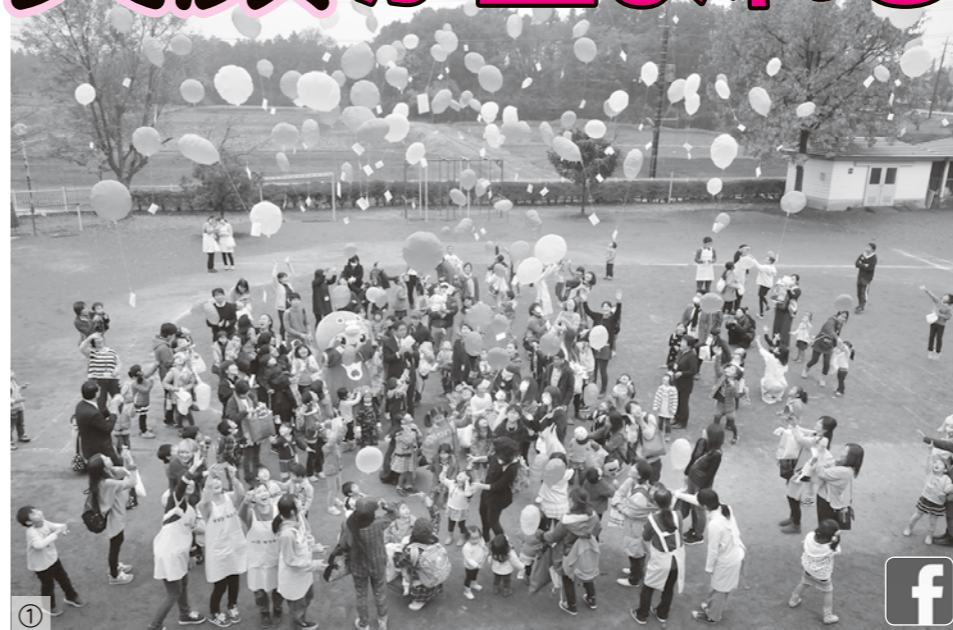


づくりなどを目的に活動する相談員は、「毎月実施しているウキウキサンデー」にもぜひ遊びに来て」と子どもたちに呼びかけていました。

笑顔が生まれるイベント

第10回子育て フェスティバル

恒例となった「お手紙風船」。参加者がそれぞれの思いを込めて書いたメッセージ付きの約200個の風船は、歓声とともに舞い上がりました(写真①)。ホールではキッズダンスや子どもたちのバレエ(写真②)、「ほっほさん」のマジックなどを楽しみました。今年は幼稚園PTAバザー(写真③)やトールペイントなどのほかに「宇宙ワークショップ」(写真④)を初開催。親子でものづくりなどを楽しみました。



11月19日、親子のふれあいや、子育て関係団体の交流を目的に「第10回鳩山町子育てフェスティバル」が町立鳩山幼稚園で開催され、親子連れなど567人が多彩な催しを楽しみました。

主催した「はとやま子育てネットワークくるつく」(事務局・役員健康福祉課)の丞村知美会長は、「前回より協力いただける方々が増え、大きなイベントに成長しています。当日は、普段幼稚園に出入りしない方々との交流や、卒園後の新たなつながりも生んでいたように思います」と、多くの笑顔を生んだイベントを振り返ります。

イベントには、長期に渡り準備をしてきた町立鳩山幼稚園PTAや、つどいの広場(ぼっぼ)を運営する山村学園短期大学、地域のお兄さんお姉さんとして活動する鳩山町青少年相談員協

「第10回子育てフェスティバル」のスタッフの皆さん



議会、学童保育の指導員、町内保育園、鳩山町社会教育委員、主任児童委員などが協力しました。多くの人に共通する「子どもたちを、親御さんを笑顔にした」という気持ちで、町全体に広がっていくことを願います。